

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①学年目標に人権的視点を盛り込んで、各教室等に掲示し、人権的視点をもって振り返りを行う。 ②コミュニケーションの一步として自分から挨拶できるように、朝会や児童会活動で話題として取り上げ、登下校時の見守りや各学級での指導を行う。 ③生活科・総合的な学習、ペア学年活動を中心に他者との関わりを充実させる。
担当	特別支援・児童指導・人権

豊かな心に関わる本校の状況
<p>学校教育目標に基づいた学年・学級目標を掲示し、振り返りの活動をいれている学級も見られたが、学校全体としては目標や人権を意識する姿は少ない。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、他学年との交流や地域とかかわる活動を取り入れることは難しかったが、各教科の授業で伝え合いをしたり対話的に学び合ったりする姿が見られた。</p> <p>昨年度、朝会での講話やかなっ子目標の振り返りなどを通してあいさつについて取り上げてきたが、自分から進んであいさつをする子が多いとは言えない。各担任で登下校時の見守りを行い、児童のあいさつの実態を把握し、各学級でも指導している。</p> <p>自分に自信がもてず自己有用感の低い児童がいたり、友達とコミュニケーションがうまくとれず、トラブルになってしまったりする児童も少なくないのが実態である。ペア学年活動は、繰り返し同じ人とかわることで、相手に親しみをもち、自分から「こうしてあげたい」などと思えるような子が育ってきた。ペア学年活動は学年によって活動回数にばらつきがある。コロナ禍の影響により、さらに活動回数が少ない学年もある。</p>

今年度の目標
人権的視点をもった学年目標を日頃から意識し、授業やペア活動、あいさつ等を通して他者との関わりを充実させることで、関わり合うよさに気づき、自分から関わろうとする子を育てる。

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標に基づき、人権的視点をもった学年目標を立て、各クラスに掲示する。折を見て目標の振り返りを行い、よい姿を価値づける。 ・ペア学年活動は2か月周期で行えるように企画し、継続して同じ人と関わりをもてるようにする。 ・コミュニケーションの一步として、挨拶が自分からできるように指導する。 ・行事や生活科・総合的な学習、各教科の学習を関連させて道徳の授業を行う。
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ・学年目標の振り返りや見直しを行う。 ・折を見て目標の振り返りを行い、よい姿を価値づける。 ・ペア学年活動は2か月周期で行えるように企画し、継続して同じ人と関わりをもてるようにする。下学年からも集会の企画などを行えるとよい。 ・コミュニケーションの一步として、挨拶が自分からできるよう指導する。 ・行事や生活科・総合的な学習、各教科の学習を関連させて道徳の授業を行う。 ・行事や生活科・総合的な学習、各教科の学習では地域の方と充実した関わりがもてるようにする。 ・人権週間の取組を通して、人権について考える機会をもつ。